

## 閉会の挨拶 大阪府済生会・支部長 梶本徳彦氏

シンポジウム終了後は、大阪府済生会・梶本徳彦支部長が「今日のシンポジウムをきっかけに、済生会の各施設が本部の指示で動くのではなく、現場から事業を進めていく。特に来年4月施行の生活困窮者自立支援の取り組みに向けて、学習支援、家計支援など事業の施策ができないのかどうか、また中間的就労の場の改革ができないのかどうか。そういうことについて、現場が考えて、一歩前に進むきっかけになればと思っています」と閉会の挨拶。

シンポジウムは参加者から多くの質問が出て、20分ほど超過して終了した。